
令和3（2021）年10月30日（土） 第5号
北海学園札幌高等学校 WWL コンソーシアムレポート
Snow Crystal Project in Hokkaido

10月30日（土）午後1：30より、北海学園札幌高等学校視聴覚教室において、WWL コンソーシアム支援事業が行われました。

SDGsの1，2，3，7，13，14，15は、食生活と関連する目標です。この日は、当目標に向けた講義が行われました。

札幌保健医療大学栄養学科の荒川義人教授が、「食品ロスってな～に？ 現状と対策を考えよう！」と題して、講義をされました。

荒川教授は、輸入相手国別の食糧輸入量であるフードマイレージが他国に比較して圧倒的に高い値をもつ我が国、食糧自給率が特に比べて圧倒的に低い我が国という視点をベースとしながら、我が国の食品ロスの深刻化を指摘しました。そして、食品ロスの発生する背景を詳しく説明しながら、食品ロスの削減に向けた未来への提言をされました。

私たちの日常生活に直接関係するトピックとあって、受講した生徒は、自身の生活を重ね合わせながら熱心に講義に聴きっていました。講義後はゴール2の、『「飢餓をゼロに」を意識して生活してみよう』ということで、「食生活ノート」1週間分の作成をするという課題が出されました。

3年生および2年生のメディカルプレップコース生、グローバルコース生、来年度、メディカルプレップコースを目指す1年生など、70名の生徒が探究の第一歩を踏み出しました。

なお、荒川教授の本講義は動画にて視聴が可能ですので、時間調整が困難であった連携校の皆様も、是非御覧ください。

荒川先生、連携校の皆さま、ありがとうございました。

